

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミⅡ					授業形態	演習		
科目コード	750115	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美							ICT活 用	○
授業概要	<p>この授業の目的は、自身の関心や問題意識から卒業研究テーマを設定し、卒業研究を行うための方法を習得することです。</p> <p>①これまで学んできた専門的知識やボランティア活動等で得た経験をもとに、特に幼児や児童のこぼや文字、伝え合うこと等にかかわる研究テーマを設定し、②先行研究の収集・整理と分析、③レジュメ作成、④発表・質疑応答を通して、研究テーマに関する知見を深め、研究方法について学びます。最終的には自身の主張を論文にまとめます。</p>								
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を受講しておくこと。 同時に「卒業研究」を受講すること。								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。</p> <p>授業の前半では、各自が、課題に対する自身の考えを資料およびプレゼンテーションにより表現します。</p> <p>【知識・理解の獲得】 後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深め、さらに自身の問題意識とその立場について検討します。</p> <p>【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】 なお、講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。</p>								
授業計画 【第1回】	「子ども教育専門ゼミⅡ」の目的 本ゼミの目的について確認します。								
授業計画 【第2回】	研究テーマの設定 自身の問題意識とその立場をもとに、資料を徹底して調べ、研究テーマを設定します。								
授業計画 【第3回】	研究計画を立てる ①意見交換 論文完成までの見通しを持ち、計画を立てます。								
授業計画 【第4回】	研究計画を立てる ②再検討 論文完成までの見通しを持ち、計画を立てます。								
授業計画 【第5回】	先行研究の収集・整理・分析 ①概略的知識を得る 論文のテーマを先行研究に位置づけて検討するため、体系的でまとまった情報を収集します。								
授業計画 【第6回】	先行研究の収集・整理・分析 ②文献検索、入手 論文のテーマを先行研究に位置づけて検討するため、体系的でまとまった情報を収集します。								
授業計画 【第7回】	先行研究の収集・整理・分析 ③先行研究における自身のテーマの位置づけ 論文のテーマを先行研究に位置づけて検討するため、体系的でまとまった情報を収集します。								
授業計画 【第8回】	中間報告								
授業計画 【第9回】	研究テーマの再検討 研究テーマと先行研究整理について報告し、ディスカッションを通して、検討します。								
授業計画 【第10回】	研究アウトラインの作成 ①構造の組み立て 構造を組み立てるため、序論の構成要素をもとに主題文を書きます。その後、アウトラインを作成します。								

授業計画【第11回】	研究アウトラインの作成 ②主題文の作成 構造を組み立てるため、序論の構成要素をもとに主題文を書きます。その後、アウトラインを作成します。
授業計画【第12回】	研究アウトラインの作成 ③アウトラインの作成 構造を組み立てるため、序論の構成要素をもとに主題文を書きます。その後、アウトラインを作成します。
授業計画【第13回】	研究アウトラインの作成 ④題名（仮）の設定 構造を組み立てるため、序論の構成要素をもとに主題文を書きます。その後、アウトラインを作成します。
授業計画【第14回】	最終報告 1: 意見交換 ディスカッションを通し、自身の研究テーマの論点を再整理します。
授業計画【第15回】	最終報告 2: まとめ ディスカッションを通し、自身の研究テーマの論点を再整理します。
授業の到達目標	1. 先行研究の収集とその整理の方法について理解することができる。 2. 研究テーマを設定し、論文執筆のためのアウトラインを立てることができる。 3. レジュー作成、発表と討論の方法について理解することができる。 【知識・技能の育成】 4. 先行研究の収集と整理、調査と分析、レジュー作成、発表及び討論を通し、卒業研究の手法を習得することができる。 【汎用的技能の育成】 【態度・志向性の育成】
学位授与の方針（DP）との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	課題に取り組むにあたって、自身の興味・関心や問題意識に関する情報や資料等を収集しまとめるようにしてください。
授業時間外学習【復習】	授業後には、意見交換や自身の学びを振り返り、論点を整理してください。
課題に対するフィードバック	毎回のレジューについては、授業時にコメントします。最終レポートについては、評価後、返却し解説します。
評価方法・基準	毎回の発表資料 50点 学習への意欲的な取り組み（発表・討論への参加状況等）50点
テキスト	井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』慶応義塾大学出版会、2019年。（1,200円＋税）
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	